

令和4年11月3日(木・祝)  
令和4年11月23日(水・祝)

# 豊山町避難所・賑わい施設 事業計画説明会

豊山町 産業建設部 防災拠点推進室  
愛知県 防災危機管理課 防災拠点推進室

# 本日の説明内容

- ◆ 1 豊山町「避難所・賑わい施設」について
- ◆ 2 愛知県「基幹的広域防災拠点」整備進捗状況について
- ◆ 3 神明公園の今後の管理について
- ◆ 4 整備工事に伴う神明公園の一部閉鎖について

## ■豊山町「避難所・賑わい施設」について

- 1) 豊山町避難所・賑わい施設の位置づけ
- 2) 愛知県基幹的広域防災拠点の概要
- 3) 避難所の分布状況と徒歩圏域について
- 4) 避難所の規模（案）
- 5) 避難所に備えるべき機能（案）
- 6) 豊山町エリアの役割（案）
- 7) 豊山町エリアの基本コンセプト（案）
- 8) 整備イメージ（案）
- 9) 豊山町エリアに係るスケジュール

# 1) 豊山町避難所・賑わい施設の位置づけ

## ■ 豊山町第5次総合計画（令和2年度～）

### ■ 土地利用構想

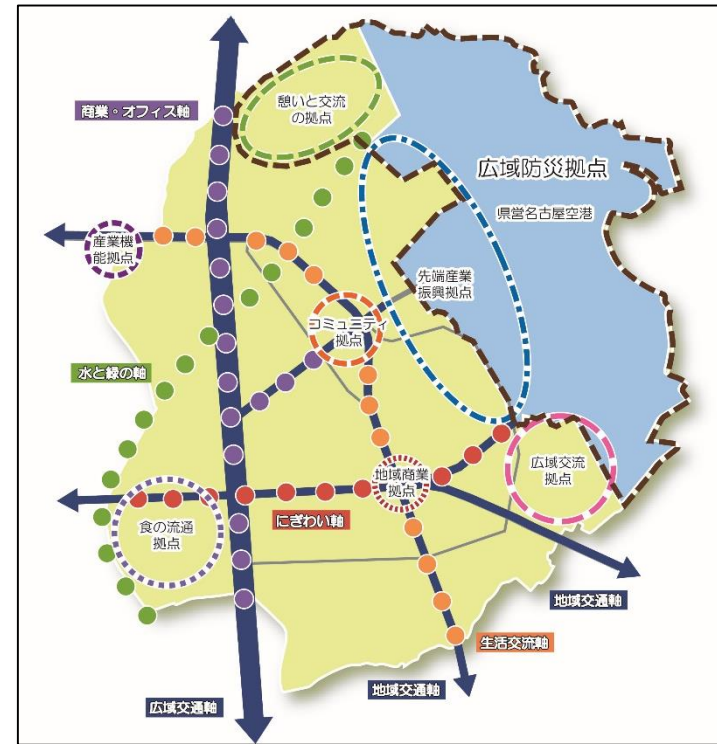
憩いと交流の拠点として、新たな防災機能を備えた公園及び交流に必要な機能・施設により、住民・来訪者の憩いと交流の拠点として位置づける

### ■ 公園・緑地の整備

地域の特性に配慮しながら、新たな公園整備の検討や既存公園の拡張を進める

### ■ 防災体制の整備

避難所機能の充実強化、新たな避難施設の設置により災害対応能力の向上を図る

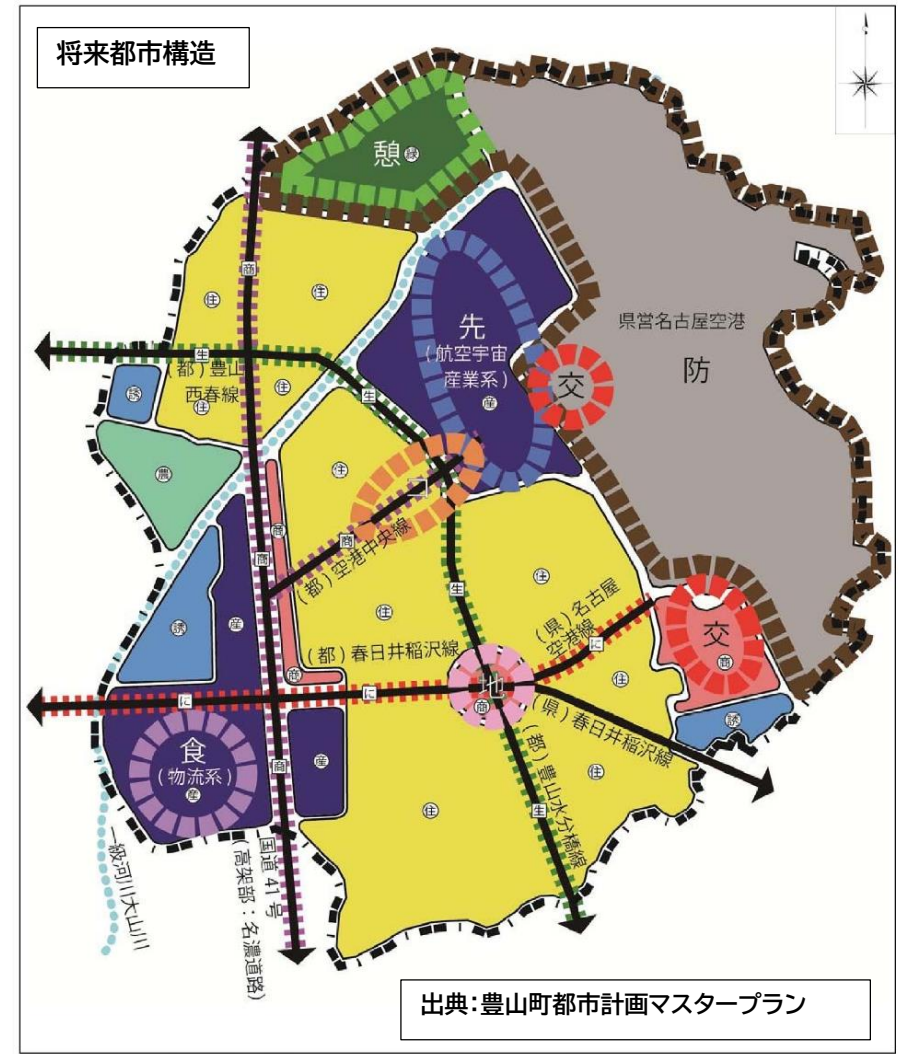


## ■ 豊山町地域強靱化計画（令和3年度～）

- 避難所における良好な生活環境の確保等  
避難所施設が不足する地域について、  
新たな避難所を整備する

# 1) 豊山町避難所・賑わい施設の位置づけ

- 豊山町都市計画マスタープラン
- 豊山町緑の基本計画  
(令和3年度～)
  - 豊山町エリアは「憩いと交流の拠点」として位置づけられている
  - 都市施設（公園緑地）の整備方針
    - 新たな防災機能を備えた公園を拠点として町民の憩いの場を整備する
    - 神明公園と一体となって、憩いと交流による賑わい空間として整備を促進する



## 2) 愛知県基幹的広域防災拠点の概要

### ■ 災害時

- 拠点指揮運用機能を確保
- 緊急消防援助隊、自衛隊等のベースキャンプ用地
- 支援物資の受入、県内全域への供給用の物資ターミナル
- 県内全域の災害応急活動を後方支援する機能を確保

### ■ 平常時

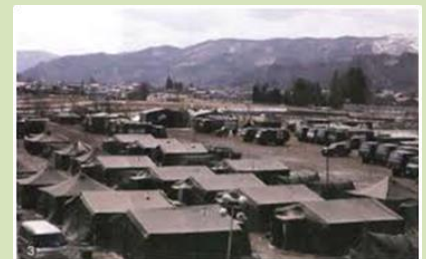
- 消防学校
  - 消防職員等育成の他、地域の防災教育・人材育成等に活用
- 公園
  - 運動施設等の他、イベント開催、防災ビジネス等に活用



## 2) 愛知県基幹的広域防災拠点の概要



- ・支援物資中継、分配
- ・県備蓄 物資保管
- ・NPO、ボラ活動支援



- ・支援部隊のベース  
キャンプ、後方支援



- ・拠点指揮本部
- ・広域医療搬送
- ・DMAT後方支援
- ・名古屋空港と  
相互連絡

県内130か所の防災活動拠点の後方支援を実施し、県内全域の災害応急体制を確保

## 2) 愛知県基幹的広域防災拠点の概要



- ・屋内運動施設
- ・イベント会場
- ・防災ビジネス
- ・スタートアップ



「備える！中日サバイバルキャンプ」より  
提供：(株)中日新聞社

- ・多目的広場
- ・防災サバイバル  
キャンプ

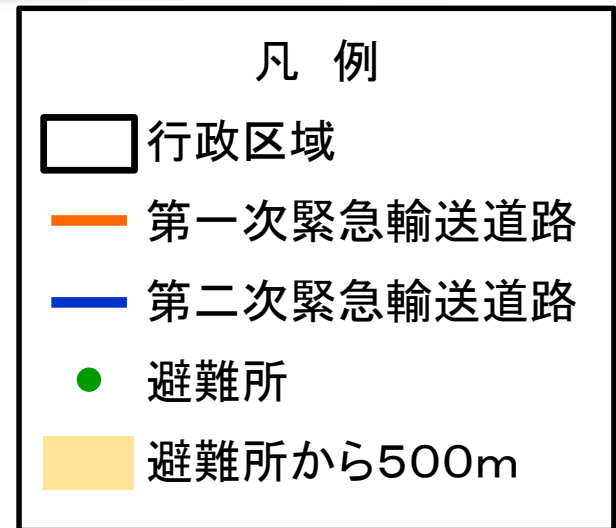
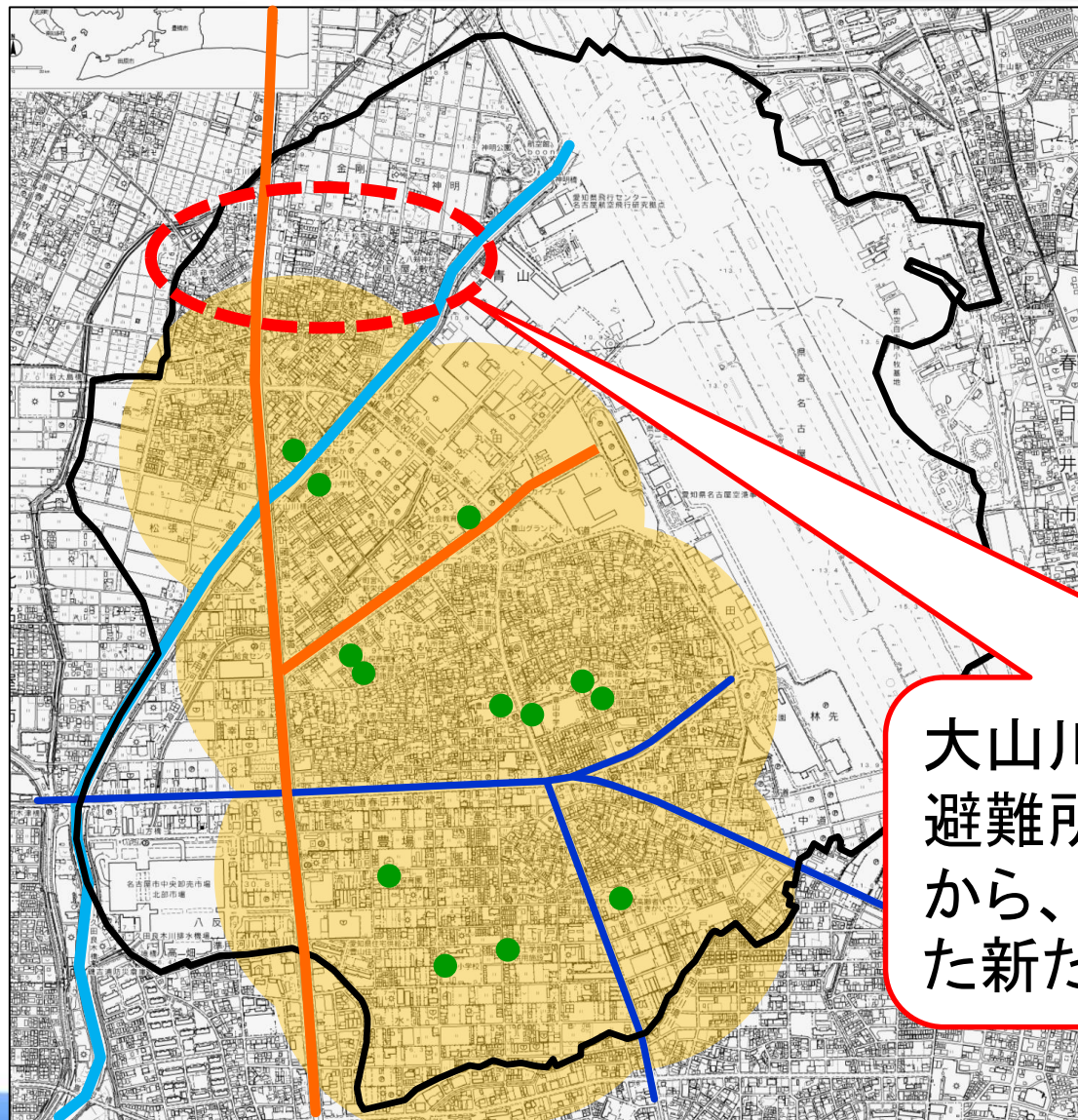


- ・消防教育
- ・防災教育
- ・人材育成

エリアの一体的な活用により、  
平時利用の活性化・防災力の向上を図る。



### 3) 避難所の分布状況と徒歩圏域について



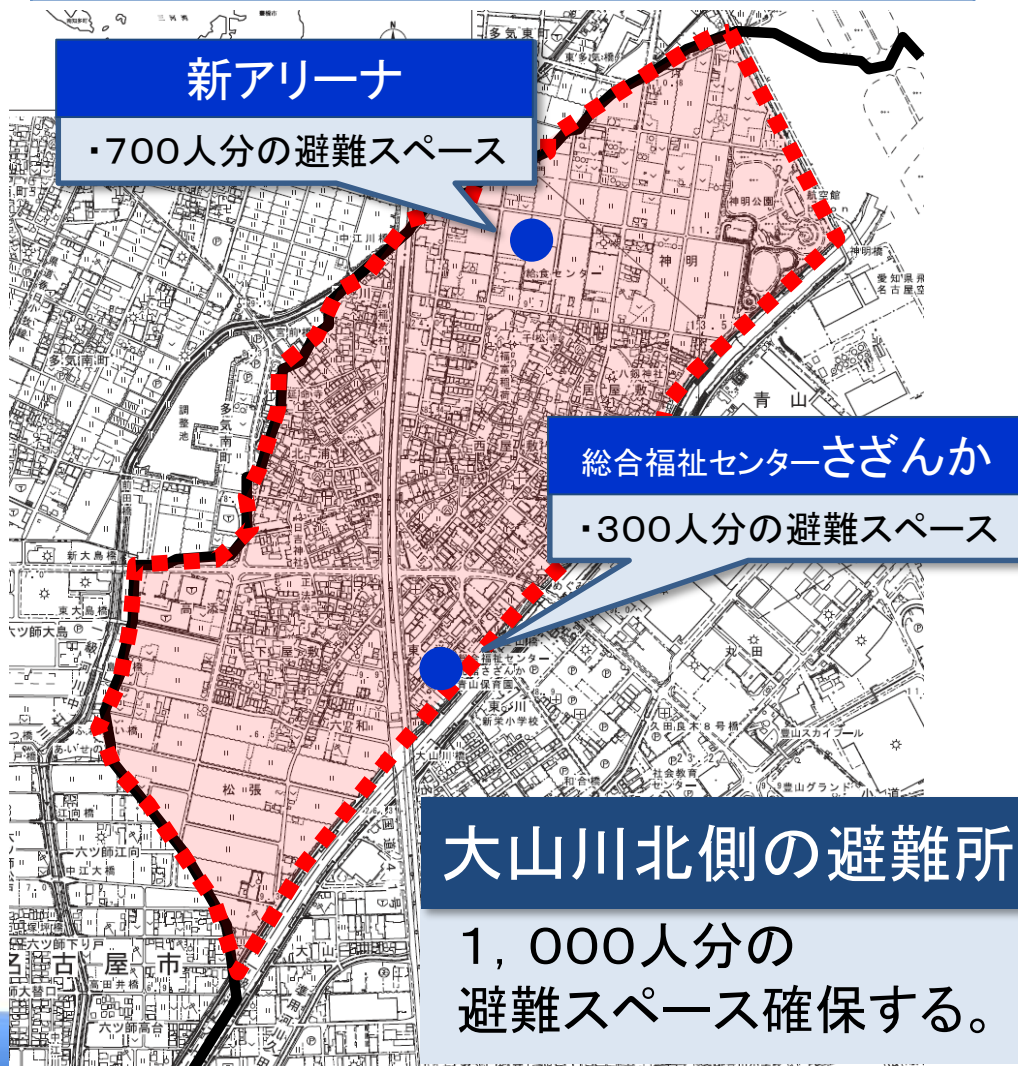
大山川北側には、徒歩圏域に避難所がない区域があることから、この区域を避難対象とした新たな避難所を検討



# 4) 避難所の規模 (案)

## 避難所規模の考え方

大山川南側の避難所と同程度の規模を確保



## 新たなアリーナの規模

▶ 700人分の避難スペース



メインアリーナ (バスケットコート2面分)

サブアリーナ (多目的室)

コミュニティスペース

防災倉庫

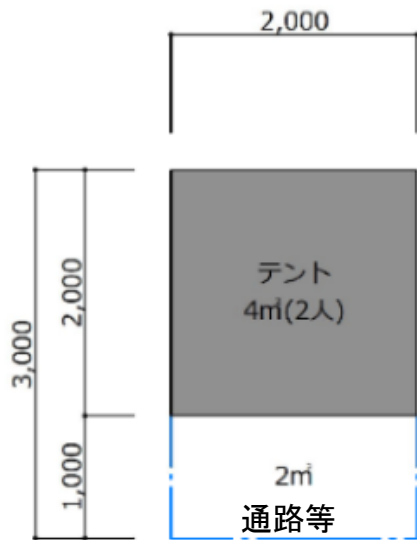
会議室・管理諸室等



## 4) 避難所の規模① (案)

### ● 避難スペースの検討(想定収容人数700人)

コロナ禍における避難生活を踏まえて、避難所ではテントを利用することとした場合、テント1基あたり2人が利用することとし、避難スペースにおける通路の幅を確保すると、1人当たり3㎡のスペース



※一人当たりの避難スペース：3㎡  
(テント1基当たり：2人収容 2m×2m=4㎡)



設置イメージ

避難するためのスペースとして  $3\text{㎡} \times 700\text{人} = 2,100\text{㎡}$   
この他に物資の搬入スペースなどを含めると2,500㎡

## 4) 避難所の規模② (案)

- 備蓄倉庫 約 1 8 0 m<sup>2</sup>
  - 7 0 0 人分の備蓄物資等を保存するための倉庫
- その他に必要な諸室 約 3 , 3 0 0 m<sup>2</sup>
  - 運営本部会議等を開催する会議室
  - トイレ等の供用空間
  - 要配慮者等（乳幼児、高齢者、病人等）のための諸室
  - シャワーや更衣室
  - 相談や交流を行うための諸室
  - 受付スペース
  - 感染症対策のための複数の動線
  - 平時利用時の事務所機能や機械室

これらの避難スペースや諸室等

延べ床 約 6 , 0 0 0 m<sup>2</sup>



# 5) 避難所に備えるべき機能 (案)

- 情報通信設備
- 電気・ガス・照明等
  - ソーラー照明
  - 自家発電設備
  - 蓄電池等
- 要配慮者スペース
- マンホールトイレ
- 耐震性貯水槽



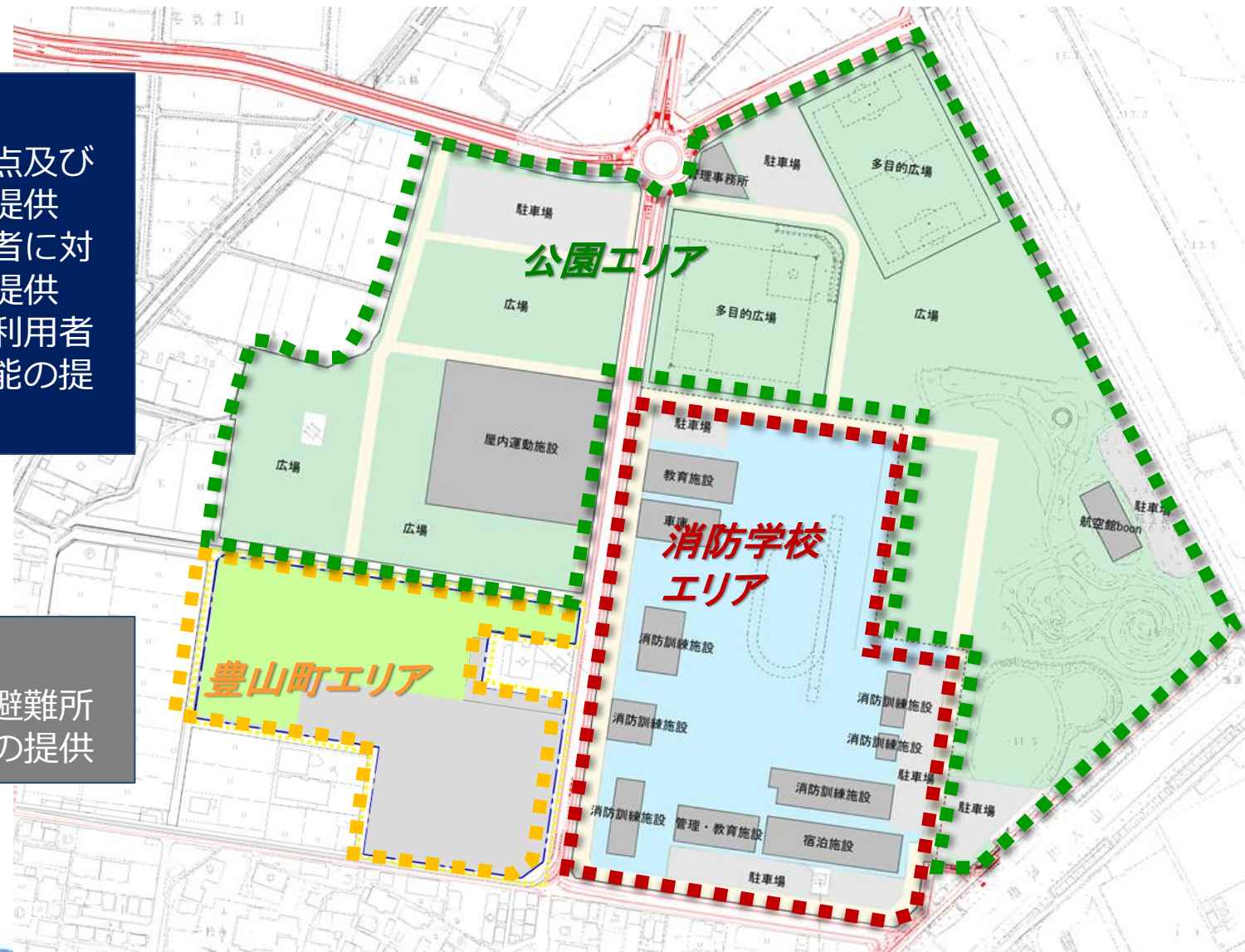
# 6) 豊山町エリアの役割 (案)

## 平常時

- 地域住民のスポーツ拠点及び憩いと交流活動の場の提供
- アリーナ利用者・来訪者に対する休憩・交流機能の提供
- 県防災公園・消防学校利用者に対する休憩・交流機能の提供

## 災害時

- 地域住民の避難場所、避難所（避難生活支援）機能の提供



## 7) 豊山町エリアの基本コンセプト (案)

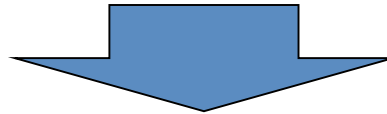
- **災害時の安心を守る**
- **暮らしの憩いと潤いを高める**
- **まちの魅力を発信**

# 7) 豊山町エリアの基本コンセプト (案)

## 基本コンセプト

### 災害時の安心を守る

被災した地域住民の安心安全を確保するために必要となる防災機能の強化



## 基本方向

- 災害時に700人の避難者を収容できる施設
- 電気、水道等が遮断されても機能する施設
- 豊山町の災害対応力の強化
- 消防学校と連携した日常的な防災訓練・学習の実施

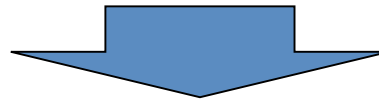


# 7) 豊山町エリアの基本コンセプト (案)

## 基本コンセプト

### 暮らしの憩いと潤いを高める

町民・来場者の暮らしを豊かにする場としてスポーツ機能、健康増進機能、憩いと交流機能を提供



## 基本方向

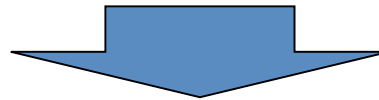
- スポーツ・健康増進機能の提供
- 施設利用者の交流と居心地の良さを提供する施設
- 子どもから高齢者まで多世代が楽しめる施設
- 公共交通の充実

# 7) 豊山町エリアの基本コンセプト (案)

## 基本コンセプト

### まちの魅力を発信する

豊山町の新たなまちの魅力創出のための都市機能整備と県営名古屋空港をはじめとする町の資源との相乗効果を生みだす魅力発信



## 基本方向

- 町民、地域事業者、JA等と連携したアンテナショップ等の展開
- 愛知県防災公園及び神明公園と一体となり様々な大会・イベントが開催できる空間と施設整備
- カフェ等の飲食施設の整備

# 8) 整備イメージ (案)



## “スポーツ・健康増進機能”

- 多目的利用が可能なアリーナ
- 多世代交流を促す交流スペース
- 健康増進施設の設置
- シャワー、温浴等の便益施設 等



アリーナ事例



イベント事例

- ## “休憩・交流機能”
- カフェ等の飲食施設
  - JA、地元事業者による物販施設
  - バス交通の結節点機能の配置



飲食施設事例

町道の廃止

新設道路

給食センター

芝生広場

“スポーツ・健康増進機能”  
(アリーナ)

“休憩・交流機能”  
(賑わい施設)

変電所

エントランス広場

駐車場

# 9) 豊山町エリアに係るスケジュール

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公園構想検討	→			
都市計画決定		→		
事業認可手続き		→		
用地取得		→		
造成・建築工事等			→ 完成予定★	

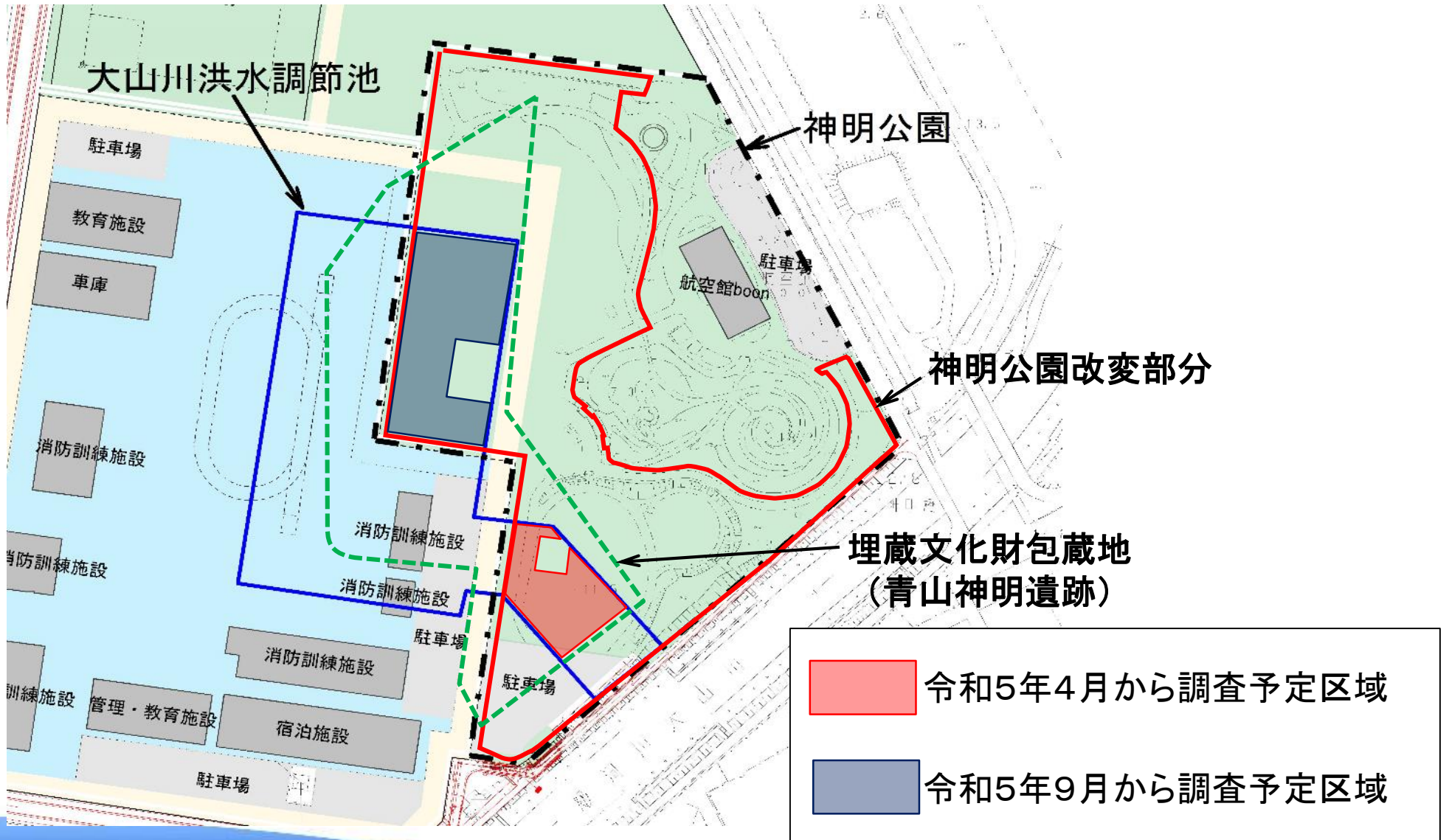


# 愛知県「基幹的広域防災拠点」整備進捗状況について

- 拠点の土地造成、調整池等について、設計を進めており説明会を開催予定。
- 拠点整備にあたり、設計・建設と運営・維持管理を一体事業として、民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用するためPFI方式を導入。

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
共通	用地取得	▼10月下旬 →			
	埋蔵文化財調査	■ 神明公園内試掘調査	→ (用地取得箇所から順次調査)		
防災拠点	土地造成等	→ 設計	→ (用地取得箇所から順次工事)		
	建築工事等	→ 事業者選定作業		→ 基本設計・実施設計、建設・建築工事	
		完成予定★			
道路	設計	→			
	工事		→ (用地取得箇所から順次工事)		
河川	設計	→			
	工事		→ (神明公園内は先行着手、その他は用地取得後、順次工事)		

# 神明公園の埋蔵文化財調査について



# 神明公園の今後の管理について

## ■ 平常運用時

航空館boon、築山等を除く部分について、県が改変及びその後の施設管理を行う予定

※公園としては神明公園のまま

## ■ 拠点運用時

災害時には全国から派遣される警察、Tec-Forceの集結場所、ベースキャンプ用地として、全エリアを使用する予定

平常運用時



拠点運用時




## 改変に伴う条件


- 神明公園のコンセプトを継承
- 現行施設（複合遊具、駐車場等）の機能回復

使用範囲



# 整備工事に伴う神明公園の一部閉鎖について

 令和5年4月から閉鎖予定区域

 令和5年9月から閉鎖予定区域

